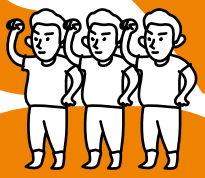
WAKAMONO



2014.5

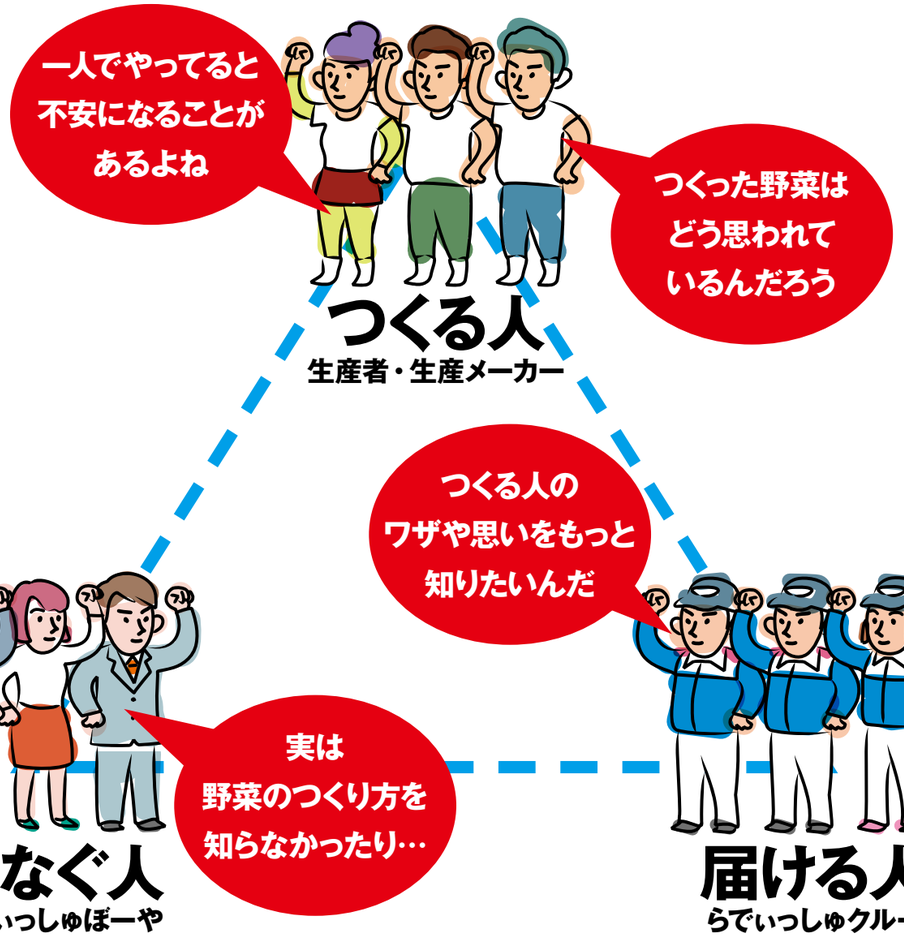
報告「全国若者集会 in 福島」

つながる、つなげる。

若者集会 再始動！

つくる人、届ける人、つなぐ人
ALL Radishが集まって
４年ぶりに動き始めた若者集会
いろんなことでつながって
どんなものにつながった?
次につなげる若者集会、再始動！

ALL Radish ってなに？



「若手生産者で集まろう！」と始まった2004年の若者集会。そこに、らでぃっしゅクルーとらでぃっしゅぼーや若手社員が加わって、ALL Radishが完成した。それぞれの想い、悩み、アイデアが共有できれば、きっとすばらしい何かが生まれるはず。

若者集会に集まる ALL Radish

「ALL Radish」と言われると正直違和感がありました。

2004年、東北から始まった若者集会は2009年までの6年間、各ブロックでその活動を広げてきました。しかしながら、昨年の11月に福島で開催するまでの時間は、リスタートというにはとても長い時間でした。震災を挟むようにして何かしら価値観のようなものが大きく変化し、それに呼応するかのようにモノの流れも既存のシステムから大きく変わったかのように感じられます。

この度、役を仰せつかるにあたり、かつて培われた「生産者」と「らでぃっしゅクルー」と「らでぃっしゅぼーや」の間で確かに感じられた一体感が、果たして未だ健在なのか。正直不安しかありませんでした。それはどちらかというと単なる「売る側・買う側」、「委託する側・される側」というありふれた二極化に向かっているのではないかという諦めでもありました。

しかし、昨年福島で開催された若者集会改め「らでぃっしゅ次世代ネットワーク」において、それは嬉しい間違いでした。集まったメンバーは、以前と同じか、それ以上にブスブスとくすぶっていました。自分たちが思い描く理想と現実のギャップ、そしてそれを打破する為に何か一緒に出来ることはないのか？ 朝まで語り合ったくすぶっている感情は火種となるにはもう充分です。

刺激し合い切磋琢磨しながら、持ち前の行動力と未来を創造する力によって燃える時が来たのです。考えたり意見したりするだけでは未来は変わりませんし、行動が伴わなければ考えていないも同然です。

一人ではありません。「次世代ネットワーク」＝「ALL Radish」。これこそが未来を変えていく力になる。

さぁ、燃えましょう!!

若者集会世話人代表
信太 惇吉
（株）ベジタブルスタイル

ここで ALL Radish 完成！

第3回Radixの会総会 食の文化祭

2004年　東北
岩手県遠野市開催。「自分の宝 地域の宝…大切にしたいもの」がテーマ。
Radixの会:48名
らでぃっしゅぼーや:6名／計54名

2005年　九州
熊本県八代郡開催。レンコン畑バレー。泥まみれになって一気に打ち解けた。
Radixの会:48名
らでぃっしゅぼーや :4名／計52名

2005年　東北
山形県三川町開催。グループワークとビーチバレーで距離がぐっと近づいた。
Radixの会:38名
らでぃっしゅぼーや:3名／計52名

2006年　九州
宮崎県西都市開催。明治から孤児を預かる石井記念友愛社も見学した。
Radixの会:47名 らでぃっしゅクルー:8名 らでぃっしゅぼーや:3名／計58名

2006年　東北
青森県平川市開催。世話人企画が始まる。「第1回"ヤルキング"決定戦」
Radixの会:27名 らでぃっしゅクルー:8名 らでぃっしゅぼーや:3名／計38名

2007年　若者集会冬の陣

2007年　九州
長崎県雲仙市開催。らでぃっしゅクルーによる、ばれっと説明・お届け寸劇が好評。
Radixの会:49名
らでぃっしゅクルー:5名／計54名

2007年　東北
山形県酒田市開催。改めて、らでぃっしゅぼーやのしくみや、ばれっとを学ぶ。
Radixの会:29名 らでぃっしゅクルー:7名
らでぃっしゅぼーや:5名／計41名

2008年　若者集会冬の陣

2008年　九州
福岡県柳川市開催。「九州をもっとアピールするには？」を募り、発表しあった。
Radixの会:45名 らでぃっしゅクルー:15名
らでぃっしゅぼーや:7名
らでぃっしゅぼーや会員さん:6名／計73名

2008年　東北
秋田県大潟村開催。田んぼの勉強会と夕食のお肉争奪フットサルで文武両道！
Radixの会:34名 らでぃっしゅクルー:20名
らでぃっしゅぼーや:3名
らでぃっしゅぼーや会員さん:5名／計62名

2009年　東北
山形県南陽市開催。山形をたっぷり堪能し、「一文字大作戦」で2日間を表現した。
Radixの会:58名 らでぃっしゅクルー:40名
らでぃっしゅぼーや:11名／計109名

2011年　若者集会特別編in大阪

2011年　若者集会特別編in徳島

つながる、つなげる

全国若者集会 in 福島

2013年11月22・23日
福島県二本松市岳温泉

参加人数：105名
生産者：35名、らでぃっしゅクルー:33名、らでぃっしゅぼーや：31名、ゲスト他：6名

スケジュール：1日目
集合、開会式／世話役代表・信太惇吉さんから挨拶と提案／座学発表：生産者・メーカー、らでぃっしゅぼーやスタッフ、らでぃっしゅクルー各2名／9グループに分かれてフリーテーマのグループディスカッション／発表／1日目閉会式／懇親会～2次会

スケジュール：2日目
ホテル出発／リンゴ生産者・羽山園芸組合訪問／道の駅「ふくしま東和」訪問／「希望の牧場・ふくしま」訪問／相馬海岸地区訪問／解散

1日目

開会・プレゼンテーション

世話役の信太さんから開会の挨拶の後、今後の若者集会についてのプレゼンテーションがされた。若者集会を継続的なものにするために、40歳までの年齢制限を就業25年までに変更、名称を「らでぃっしゅ次世代ネットワーク」に変更、世話人の任期を2年、立候補もしくは指名制に変更。いつでも情報交換ができるよう、Facebookの活用も提案された。

座学発表

開会後の座学発表では、生産者＆メーカー代表：(株) 水の子会・上村一宏さん、常盤村養鶏農業共同組合・葛西佑哉さん、らでぃっしゅぼーや代表：農産部・三宅和成さん、営業部・本宮洋志さん、らでぃっしゅクルー代表(有) エムズ・山内宏将さん、(株) シード・宍戸義英さんの、自社業務の紹介から壮大な自己PRまで、興味深い発表が続いた。

つながった若者集会

立ちのぼる湯気、硫黄の香りが静かに漂う温泉街にALLらでぃっしゅがどんどん集まってくる。

4年前に休止した若者集会を再開するにあたり「まずは人を集める」を大前提に、東京での開催も考えられた。しかし「次は福島で」を実現し被災地の今を見るために、世話人たちは福島開催を決定した。

開催地決定が遅れたことで「30人も集まれば」という予想を大きく裏切り、つくる人、届ける人、つなぐ人のALLらでぃっしゅ、百名あまりが集まった。

世話人・信太惇吉さんの挨拶とプレゼンテーションで、4年ぶりの若者集会がスタート。現在ALLらでぃっしゅの抱える問題点が洗い出され、若者集会を長く続けていくための提案がされた。4年ぶりのウォーミングアップにふさわしいプレゼンに、参加者の心の準備も整った。

座学発表、グループワーク、その発表と、今までの若者集会と同様のプログラムが進行していく。変わったのは、らでぃっしゅぼーやからの参加が大幅に増え、つくる人、届ける人、つなぐ人が同じ割合になったことだ。仕事も立場も考え方も、そして悩みも異なった者同士での討論はとても新鮮だったようだが、まだまだ遠慮も多かった。三者が若者のならではのバイタリティで、その知識とアイデアをぶつけ合えば、何倍ものエネルギーが生まれるはずだ。

若者集会のメインイベント懇親会では、仲間づくり、技術談義、恋の悩み相談、愚痴を少し……、二次会の後も、あちこちの部屋で朝まで語り合いが続いていた。

グループディスカッション

くじ引きによって参加者がシャッフルされ、9グループに分かれてのディスカッション。テーマは決めず、日頃感じていることなどを自由に議論していくというスタイル。

皆がリラックスして活発に議論できるよう、ナビゲーターとして世話役たちがグループに1人ずつ加わった。硬かった表情も時間と共にほぐれ、あちこちで活発なやりとりが繰り広げられた。つくる人、届ける人、つなぐ人、それぞれの悩みやアイデアが飛び交う。ディスカッションはグループごとに自由に進めていく。カードにはキーワードを書き留めて集約していった。

ディスカッションの発表

ディスカッションの発表も、おのおののスタイルで。何かしらの結論を出したグループ、意見を集約しないまま時間が来てしまったグループ、さまざまだ。発表の内容よりも、1時間半のディスカッションに意味があったと感じた参加者も多かったが、初参加が多かった「つなぐ人」たちは少し遠慮がちに見えた。

懇親会

2日目に訪問する希望の牧場・吉澤正巳さんから、牧場に関する簡単なレクチャーを受けた後、若者集会で最も重要なプログラムでもある懇親会が始まる。後藤常務理事からの「火をつけない限り、どんなに盛り上がっても大丈夫！」という挨拶に、参加者の興奮も最高潮に。火はつけなくても、あらゆる議論に火がついていく。和気あいあい、喧々がくがく。2次会、そして3次会、4次会……明るくなるまで熱い語り合いが続いたらしい。

2日目は被災地の見学にあてられた。今も放射性物質の影響と風評被害に向き合う生産者の方々。一見のどかに見える「希望の牧場」の被曝した牛たち。ほとんど手つかずのまま、うち捨てられた相馬海岸地区。

被災地の今を目の当たりにした参加者は何かを抱えて帰ったはずだ。それは、地元に持ち帰り報告することかもしれないし、次の行動を始めることかもしれない。

何につながり、何につなげるのか

今回の若者集会は、何かを「つなげる」きっかけとなったにちがいない。

若者集会から『若者の歌』が完成し、ラディックスの会総会で披露された。フェイスブックのグループもできあがり、交流が始まっている。その場限りではない、つなげるアクションが少しずつ始まっている。

届ける人から
あらためて感謝します

有限会社 エムズ　部長
竹田　徹

らでぃっしゅぼーや歴は16年、初めて運営側の立場で参加した今回の若者集会であらためて気づかされたことがあります。それは水の子会・上村一宏さんの座学発表にありました！　発表で流された映像の中の「食べ物は、誰かが作らなければいけないのです」という言葉でした。生産者の方からすれば当たり前の事かもしれません。しかし食べ物が当たり前のように手に入る世の中で育った人間は、まず気づかない事だと思います。僕たちの代わりに作ってもらっているものを、僕たち届け手はその努力と想いも一緒にお客様へ届ける。その大切な仕事が、らでぃっしゅぼーやの取り組みなのだとあらためて教えていただきました。

僕たち、らでぃっしゅクルーの若者集会への参加目的は、生産者の方の想いを知り、感じる事。そして、クルー自身が自分の仕事に誇り持つことにもつながります。それを体験してもらうため、経験の浅いクルーへ若者集会への参加を呼び掛けています。大切につくった本物の食品を、我々は運ばせていただいて、あらためて感謝!!

つなげる人から
タスキがつながったなぁ

らでぃっしゅぼーや(株)
農産部農産企画課
島田 晶子

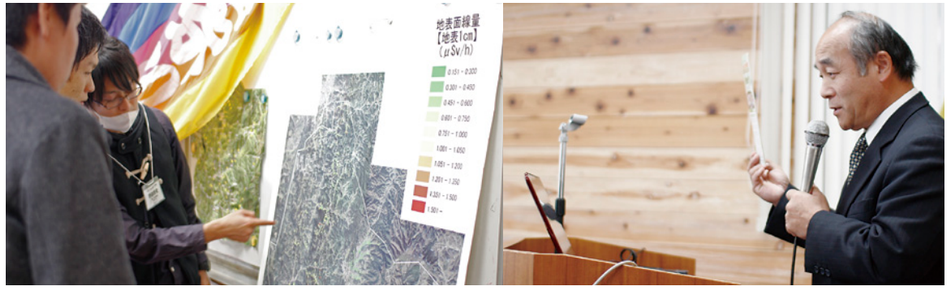
「次は福島で」と終えた2009年東北若者集会。4年の歳月を経て約束どおりに福島で復活しました。前回まで世話人の1人であった者として、感慨深いと同時に、開催の意味合いが異なることに襟を正す思いでした。2011年3月、東日本大震災とその後の福島第一原発の事故を経て、東北や関東の農産物を取り巻く状況は激変。つくる者、つなぐ者、届ける者、そして生活者として今後をどうしていくべきなのか。突きつけられた課題は今も深く重く、それぞれが思いをめぐらせていると思います。

グループワークで出た意見は過去と変わらず、嬉しい反面、もどかしくもありました。そんな中「次世代ネットワーク」への名称変更の提案や、らでぃっしゅぼーやの若手スタッフの参加が増えたことなどに「なんとかしていこう」というプラスのエネルギーを感じました。アナログ世代の私などとは違い、イマの彼らがネットワークを駆使して、歩みを進めてくれることは非常に頼もしい。やって満足、だけにはせず、その先を皆で見据えながら侃侃諤諤(かんかんがくがく)していきましょう。

2日目

道の駅「ふくしま東和」

災害復興プログラムについての取り組みを、ふるさとづくり協議会・事務局長の武藤正敏さんにうかがう。放射性物質の測定、会員の健康調査、除染、さまざまなデータの収集。前向きに被害を分析し対策することで、風評被害を克服しつつある東和の取り組みには、みな頭が下がる思いだった。お話の後、道の駅内にある放射性物質の測定室や放射線量マップの展示を見学。



相馬海岸地区

道路をふさぐゲートと警備員の姿に、バスの中にも緊張感が漂う。津波の被害を受けた海岸線は原発事故の影響も重なって、ほとんど手つかずの状態。大量のガレキが集められてはいるものの、雑草の合間に何隻もの船が浮かんでいる。震災直後なのかと錯覚してしまうほど、時間が止まってしまったような場所だ。静かに見学し、慰霊碑に手を合わせて、若者集会は終了した。

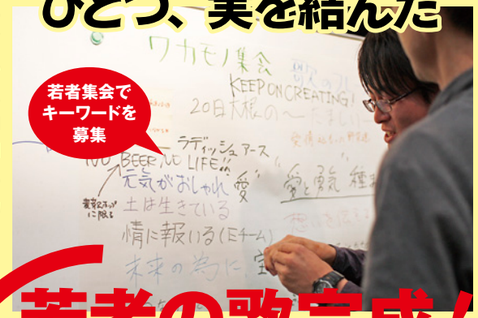
非営利一般社団法人「希望の牧場・ふくしま」

ゴーストタウンと化した浪江町の町並みを横目に見ながら「希望の牧場」に向かう。福島原発の事故後、政府の殺処分指示に従わず、被曝した牛たちに今も餌をやり続ける吉澤さんの牧場を見学し、事故当時のお話しをうかがう。餓死してしまった牛、荒れ果てた牧場は今はもう写真でしか見られず、皮肉なことに牧場の景色は平和そのもの。遠くに福島原発の鉄塔が見える。

羽山園芸組合

Radixの会のリンゴ生産者、羽山園芸組合さんを訪問。原発事故から現在までのお話を武藤善朗さんにうかがう。リンゴ廃棄の辛さ、効果を上げた除染方法、徐々に回復してきた売上状況などを淡々と語る武藤さん。奥さまが手際よく剥いてくれたリンゴは、蜜がたっぷりでとても美味だった。

若者集会でのアクションが ひとつ、実を結んだ



若者の歌完成!

youtubeで見られます
http://youtu.be/h7e_6s-NIJE
～Radix×Radicle×Radishの歌～
総会・懇親会で初披露された若者の歌をみんなで大合唱。画質はよくありませんが、あのときの感動をもう一度!

Radixの会 総会の懇親会で完成披露

1
昇る朝日　明日を信じて　種をまき
大空に夢を描く
つなげる命のすばらしさ
あぁ　今日も太陽は輝き　花を照らす
希望の光　ともし合い
未来へ続くその道を
共に　拓け　拓け

2
昇る朝日　明日を信じて　水をまき
遠く深く広がる根っこ
つながる縁のあたたかさ
あぁ　蒼いこの星は煌き　実を結ぶ
届ける喜び　分かち合い
共に拓いたこの道を
共に　歩め　歩め

全国から同じ想いを持った若者が集まる、何か形になるものを残したい、と漠然と思いました。あ、それなら歌がいいな。それも皆で肩組んで歌えて後世にも歌い継がれていくようなのがいいな、と。永い人生、辛いこともあるだろう。やめたい時もあるだろう。目的見失うこともあるかも。そんな時、口ずさんでもらいたい。この大空の下には仲間がたくさんいるよ。大丈夫、日本も世界も地球もきっと良くなる。僕たちがその原動力となる。未来はきっと明るい。
この歌は願いです。本当に良いものが出来たと思います。作詞、作曲、携わっていただいた皆様、ありがとうございます。どこかで歌いましょうね！

若者集会世話人・(株)水の子
上村 一宏

若者集会世話人
上村 一宏

いいね

フェイスブックでつながろう

facebook

フェイスブック内で検索

らでぃっしゅ次世代ネットワーク

らでぃっしゅぼーや営業の本宮です！ ベジタブルスタイル・信太さん号令のもと動き出した新しい若者の集い「らでぃっしゅ次世代ネットワーク」。ALL Radishの輪をより強固にすべく、facebookグループを立ち上げました！　志を同じくする全国の仲間と、距離を超えたリアルタイムな繋（つな）がりを力にして、豊かな未来へ突き進みましょう！

facebookグループへの参加にはページ上で「申請」をお願いします

+1 グループに参加

Radix semi-official column

ワカモノに聞いてみよう

色々つくっている若い人たち

らでぃっしゅぼーや環境保全型生産者団体 Radixの会の若手生産者にインタビューしてみたよ

記念すべき第1回を飾ったのはベジタブルスタイルの信太さん。ワカモノの皆さんはリラックスして本音で語っています。

現代では絶滅危惧種の若い生産者がRadixの会には多数生息します。そんなワカモノたちの大いなる野望、日常の風景をインターネットでお伝えしています。連載も9回を数え、ワカモノたちの生態がどんどん明らかになっています。「語りたいことが山ほどある」というワカモノ、名乗りを上げてください！

密かに人気の一コママンガ

元気なワカモノ募集中

01 農地を維持することが大事
ベジタブルスタイル
信太 惇吉さん

02 米作ってると体がでかくなる?
ベジタブルスタイル
櫻庭 和博さん
長田 顕司さん

03 道路建設と農業の不思議な関係
農民連・奈良産直センター
松井 秀平さん

04 明るい親子経営の㊙法
草枕グループ
右田 忠利さん
右田 利香さん

05 おいしさの物差しを持つこと
今井農園
今井 信也さん

06 三浦の地力（ちりょく）に感謝
黒崎有機栽培研究会
石渡 剛さん
山田 光昭さん

07 農家なのにノマド（遊牧民）に憧れる矛盾
無茶々園
片山 無さん

08 開拓魂、まだ燃えてます
大牧農場
五十川 賢治さん

09 農業しか思い浮かばなくて
土佐百
新井 博明さん
鍋島 祐介さん

ワカモノに聞いてみよう　検索

http://www.fdo.co.jp/wakamono/index.html

Radixの会事務局から

3つの『R』を担う若者よ、応援しています♪

Radixの会事務局長　沢村 智代美

3つの『R』が結集した若者集会。今回私の役目は「口を出さない。全てを任せて見守る。何かあった時は責任を取る」だった。とてもつまらない役目。若者集会は夢を語る場。みんなの夢を共有する場。そしてその夢を実現するにはどうしたら良いのか？を議論する場。そして元気になる場です。私も夢を語りたかった～です♪ 3つの『R』を担う若者よ♪もっと夢を語れ～♪頑張れ～♪

Radixの会研修生から見た若者集会

Radixの会事務局　森田 浩平

全国から『Radixの会』『らでぃっしゅぼーや』『Radicleの会』の若者が集い、食の未来について語り、理解を深め合った若者集会。裏方として参加しながら、様々なところで皆さまがつながっていく様子が見ることができ、ワクワクしました。
今回から『らでぃっしゅ次世代ネットワーク』という名称に代わり、今後ますます活発になることと感じています。

WAKA MONO 02
報告「全国若者集会 in 福島」

2014年5月20日発行
Producer　沢村智代美（Radixの会事務局）
Editors　西村郁子（フェアリーダスト・オフィス）
Design　フェアリーダスト・オフィス

Radixの会 らでぃっしゅぼーや環境保全型生産者団体
〒163-1416 東京都新宿区西新宿3-20-2　らでぃっしゅぼーや内
TEL　03-6731-4559　FAX　6731-4560
e-Mail：radix@radishbo-ya.co.jp　Web Site：http://www.radix-jp.org